

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	スーパー（店長）	・現在のところ、総額表示導入により買物の動きが非常に悪くなったことから、単価を下げ、値入れが落ちている。この状況が、下期から若干改善するのではないかと。 ・猛暑の影響で、今まで不調であった衣料品、住居用品が少しずつ上向きである。今後も少しずつ伸びる。
		スーパー（総務担当）	・今の状況が継続するようであれば、客数、客単価ともに維持でき、売上増も期待できる。
		コンビニ（エリア担当）	・パン、弁当の売上は落ちているが、際物のらくがんについては、どうにかクリアできた。このことから、3か月先のクリスマスケーキが前年と比べて大幅に伸びるのではないかと。前年は前年比108%だったので、2けた伸張すると予測している。
		コンビニ（販売促進担当）	・9月の着物大展示会開催にむけてダイレクトメールを送っているが、客の反応が良い。高級品に関して手ごたえがある。
		衣料品専門店（総務担当）	・客の購入単価、購入頻度とも増えており、財布のひもが緩くなっている。
		家電量販店（経営者）	・ボーナスも昇給もまあまあであり、商品も相応に売れているので、全体的に潤ってくる。
		家電量販店（企画担当）	・10月から新型車が4車種出るため、価格競争にならず、利益も上がるのではないかと。
		乗用車販売店（従業員）	・海の幸、特にふぐのシーズンに入るので、来客数の伸びが予想される。景気が伸び、客がもう少し動いてくれれば、更に良くなる。
		高級レストラン（経営者）	・おいしいものにはそれなりの金を払ってでも、外食費くらいは金を気持ちよく使いたい、という流れを感じる。
		一般レストラン（スタッフ）	・予約の動きをみると、団体、個人ともに上向いている。景気は上向く。
		都市型ホテル（副支配人）	・オリンピックが終わり、人の動きが活発になる。海外も韓国に加え他の方面が増え始め、単価の伸びが期待できる。
		旅行代理店（従業員）	・例年秋口には販売量が増えてくるが、今年もデジタル家電の販売が非常に伸びる。
		通信会社（総務担当）	・今月に比べ、先の予約状況はかなり良い。
		ゴルフ場（従業員）	・官公庁に加え、民間でも企画の相談がぼちぼち来ている。景気はやや良くなる。
変わらない	変わらない	商店街（代表者）	・年配向けの商品が多いが、税金、年金問題や医療関係の出費が多くなっていることで、消費が手控えられている。
		百貨店（営業担当）	・街場への動員増につながる変化がないため、今後2～3年の苦戦を強いられる。
		百貨店（営業担当）	・製造業等は底離れしたようであるが、末端の消費はまだである。ガソリン代が上がること等が影響するとみられる。また、一部高額品の動きが良くなっているという話を聞くが、それはIT関連企業の経営者等、一部の高所得者層の動きである。
		百貨店（営業担当）	・9月以降は秋物商戦が本格化するが、長期予報では残暑が長く続くとみており、秋物の動きもあまり期待できない。
		百貨店（営業担当）	・楽観はできないが、今月より悪くなることはない。オリンピックの影響で消費が前倒しになっているとみられ、その反動が懸念される。
		百貨店（営業担当）	・中元ギフトの客単価、買上点数ともに前年割れとなった。薄型テレビ等の好調もオリンピック特需であり、一時的なものであった。また、猛暑の影響から秋物プロパー商品への先行需要も伸び悩んでいるほか、台風襲来等自然災害への備えなど、消費意欲を高揚させる好要因が見当たらない。
		百貨店（販売促進担当）	・オリンピックが終わり、多少人の動きが活発になるものの、景気回復の起爆剤となるようなモノ・コトが見当たらない。
		百貨店（業務担当）	・消費マインドを引き上げる要素が見当たらない。チラシ等による訴求効果も見られなくなっている。
		百貨店（売場担当）	・数パーセントの減少がほぼ継続している。若干回復したとしても、さほど変わらない。

	スーパー（店長）	・儀礼的なギフトが減り、どうしても必要なものだけを買っている。また、衣料品を中心に、我慢できるものは我慢し、必需品だけを買う状況が見受けられる。ぜいたく品は特に我慢している。	
	スーパー（店長）	・隣で建設している大型施設でスポーツジム等レジャー関連施設が完成したことで、来店客数はかなり増えている。ただし、総額表示の影響が長く尾を引いている。特に青果関係やギフト等で相対的に単価が下がっており、かつてのように高額品がまだ売れていない。客数増加の分だけ多少伸びるということは考えられるが、そう上向くことはなく、現状維持である。	
	スーパー（総務担当）	・大手企業の決算は非常に好調ということであるが、まだまだ末端の消費者までは浸透せずに消費購買力のマインドそのものはまだ冷え切った状態である。したがって、消費はまだまだ横ばいである。	
	衣料品専門店（店員）	・7～8月にセール慣れした客が、定価品を買ってくれるのかどうか懸念材料である。	
	家電量販店（店員）	・販売量のわりに利益が伴わず、薄利多売の傾向が競争の中で加速していくのではと懸念している。	
	乗用車販売店（経営者）	・来客が非常に少なくなっている。また、客は安い単価を提示してくる。零細企業ではボーナスが出ていないところや賃金カットを行っているところもかなりあるようだ。	
	乗用車販売店（販売担当）	・今年に入り、販売量、単価ともほぼ前年と変わらない。今後この状況が好転するとは思えない。	
	乗用車販売店（管理担当）	・ガソリンの値上げという悪い要素もあるが、車は必需品であるため、代替、買換え需要は尽きないとみられ、これ以上悪くはならない。しかし、急激に良くなることはない。	
	住関連専門店（経営者）	・婚礼家具の動きは出てきたが、全体的な荷動きはまだ良くない。家具業界の景気の回復はほど遠い。	
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・9月の元売より燃料油仕切り価格はまた値上げが予定されており、小売価格へ転嫁せざるえない状況である。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・現在の予約状況や営業部門の動きからは、2～3か月後は良好とまでは言い難い。	
	タクシー運転手	・オリンピック、夏休みも終わり、仕事、レジャーが少しは良く動き出す。それに伴い、利用客も少しは増えてくる。	
	タクシー運転手	・客待ちの時間が長くなった。また、スナック経営者たちの話でも、あまり良くないそうである。	
	通信会社（経営者）	・大手企業は末端の下請業者を締め付けて良くなっている。この状態では、大手の収益は上がっても全体の日本経済としてのアップにはならないので変わらない。	
	通信会社（営業担当）	・何らかのイベントがないと、上向きになることは難しい。	
	観光名所（職員）	・ゴルフ場については、プレー料の低廉傾向は相変わらずであり、値段を上げられそうもない。	
	美容室（経営者）	・四季に関係なく、今一動きがない。	
	設計事務所（所長）	・新規の仕事の件数が少なく、悪い状態がまだ続いている。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・駅ビルのオープンの影響が当面続く。	
	商店街（代表者）	・購買力が非常に悪い。消費者にとっては景気は全く良くなっていない。	
	百貨店（売場担当）	・大分市や別府市で屋外の娯楽施設（水族館など）がオープンし、週末の来店数が減少傾向にある。同業他社との競争も依然として厳しい。	
	スーパー（店長）	・近々、競合店がまた出店予定である。今後まだまだ厳しい状況が続く。	
	スーパー（経理担当）	・客数、販売数から景気はわずかに上向きと考えられるが、客単価、一品単価の下落傾向が続き、販売額総額としてはむしろ下降している。	
	その他専門店〔医薬品〕（従業員）	・客数は一時的に減少している。また客単価も回復する傾向はない。そのため3か月後も回復しない。	
	旅行代理店（従業員）	・秋の旅行商品の販売に取り組んでいるが、今一客の伸びが良くない。前年割れが懸念される。	
	旅行代理店（業務担当）	・10月以降の社会保険料増額から、余暇・レジャー支出は更に減少する。	
	悪くなる	衣料品専門店（店長）	・7、8月の売上は前年比20%減となっている。販売状況、来店状況からは、景気が良くなるとは思えない。
		高級レストラン（経営者）	・今秋は団体の予約がほとんど入っていない。
企業	良くなる	-	

動向 関連	やや良くなる	農林水産業（経営者）	・冬場の鳥インフルエンザの発生が心配であるが、今から秋口の行楽シーズンに向けておおむね好調である。国内の原料価格に少し不安もあるが、年内は順調である。
		鉄鋼業（経営者）	・民間建設プロジェクトの具体化に伴い、必要資材の発注も増加する。実需に見合った生産を維持することで、原材料・運賃などの価格上昇分を販売価格に転嫁できると期待している。
		その他サービス業〔物品リース〕（役員）	・取引先の状況や景況感に対する反応、契約額等が若干上向き傾向であるため、景気は良くなる。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	・ギフト商品がほとんど出ていない。一方で当地区では倒産も新たに起きている。今の悪い状態が今後も変わらないのではないかと心配している。
		一般機械器具製造業（経営者）	・オリンピックが終わり、需要が減少するため、受注量が少なくなる。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・相変わらず国内での仕事は受注量も少なく、単価も非常に厳しい。
		建設業（総務担当）	・公共工事は公募型が多くなり、1案件に対して30～40社応募するため、受注のチャンスが少なくなった。また民間の設備投資も上向いてきたが、投資金額は少ない。
		輸送業（従業員）	・猛暑の影響から8月は出荷が低迷したが、秋冬物の出荷が順調になれば、7月までの荷動きが戻ってくる。
		輸送業（総務担当）	・どの得意先も荷動きは安定しており、特に変化はない。
		金融業（営業担当）	・中小企業経営者から、まだ景気については先行き不透明であるという話が聞かれる。
		広告代理店（従業員）	・金融関係で商品の説明やPRが少し活発化しているが、他は好材料があまりなく、広告活動は依然停滞気味である。
		広告代理店（従業員）	・この3か月は受注量は上向きであるが、更に上昇するような気配はない。微増のまま推移する。
		経営コンサルタント	・酒類小売店において、ギフトの売上が良くない。例年より早く終わり、ピーク時には売上があまり上がらなかった店が多い。消費動向は変わらない。
やや悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・半導体のリードフレーム関連では、ここきて大手企業の動きが非常に悪くなってきており、先行きの見通しもはっきりしていない。また、精密機械加工においてもやや受注にむらが出てきている。	
	不動産業（従業員）	・宅地販売部門においては、販売価格・販売戸数ともに回復がみられない。	
悪くなる			
雇用 関連	良くなる	職業安定所（職員）	・大企業が中心となるが、県内のボーナスは、金額、月数とも前年を上回っている。年末に向けて自動車関連、カメラ製造関連等の工場の立ち上げがあり、雇用が増えるため、個人消費は今より上向く。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・営業職において活発な募集がみられるため、徐々に好転する。
		求人情報誌製作会社（総務担当）	・企業の採用マインドが高まっている。ただし、どんな人材でも良いわけではなく、厳選採用・即戦力を求める声は根強い。
		民間職業紹介機関（支店長）	・自動車・半導体エレクトロニクス・家電等の好調な業種からの商談は、年度後半から年末商戦時期まで継続的に需要が出てくる勢いを感じる。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・精密機械、半導体関連の事業所からのオーダーが目立っているが、ここきてリストラの話があったり、長期の契約が切れたり、一進一退である。
		職業安定所（職員）	・企業は利益が上がっておらず、雇用もすぐ増やそうという感じではないし、雇用を増やす余裕がない。
		民間職業紹介機関（職員）	・若年層の採用が活発になり、人材不足を起こしている状況が続いているが、決して景気が良くなっているとは思えない。また、中高年層の採用状況が若干は伸びているが、数パーセントに過ぎない。
	やや悪くなる		
	悪くなる	-	-